

2023年度 築理会総会・工学部建築学科創設60周年記念行事

日時 2023(令和5)年5月27日(土曜日) 14:00 開始
会場 神楽坂校舎1号館17階講堂及びZOOM ミーティング

1. 総会 (14:00~14:50)

司会 近藤 剛 啓

(1) 挨拶 会長 佐野 吉彦

(2) 議長選任

(3) 議事

ア	第1号議案	2022年度活動報告	会長	佐野 吉彦
イ	第2号議案	2022年度決算	事務局長	栢木まどか
ウ	第3号議案	2022年度監査報告	監査役	小嶋 美行
エ	第4号議案	次期役員改選	会長	佐野 吉彦
オ	第5号議案	2023年度活動計画	新会長	
カ	第6号議案	会員DB再整備・Web版名簿導入	会員ネットワーク委員長	石橋 敦之
キ	第7号議案	2023年度予算	新会長	

≪ 休憩 ≫

2. 工学部建築学科創設60周年記念行事 (15:00 ~17:00)

司会 栢木 まどか

(1) 開会挨拶 工学研究科建築学専攻幹事 熊谷 亮平

(2) 学校法人・大学代表挨拶 東京理科大 副学長 倉渕 隆

(3) 学科報告 工学部建築学科主任 今本 啓一

(4) 学生発表 「大学院インターシップを経験して」

≪ 休憩 ≫

(5) クロストーク —「理大建築をどう強くする」—

進行 今本 啓一

パネラー参加者：教員側から：郷田 桃代、長井 達夫、高橋 治

実務者側から：佐野 吉彦、石橋 敦之

(6) 共同宣言・同署名 今本 啓一、新会長

(7) 閉会挨拶 新会長

≪懇親会会場へ移動≫

3. 懇親会 (17:20~19:00)

会場 PORTA 神楽坂 理窓会倶楽部

進行 三輪 富成

第1号議案

2022（令和4）年度 築理会活動報告

1. 活動の方針

活動方針

東京理科大学工学部建築学科が築いたネットワークは、卒業生と母校の発展を支えている。築理会は、同窓会としての存在感を高め、さらに大学との結びつきを強め、築理会を活性化する。

テーマ1 会員相互の交流を活発化する

テーマ2 会員の活動を支援し、「理科大建築」のプレゼンスを拡大する

テーマ3 東京理科大学工学部建築学科と連携して教育貢献する

2022年度活動計画

■前年度の活動をより充実・発展させ、会員の活躍をサポートする事業を行う。

■過去2-3年の運営経験を活かし、リアルとリモートそれぞれの長所を活かす運営を進める。

■会員のネットワーク機会を増やす

■築理会の運営を支える人材の幅を広げて、会の力をより高める。

■築理会の長期を展望した改革を検討あるいは着手する。

2. 活動の総括

2022年度の築理会は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下であったが、少しずつ対面行事を再開することができた。

年度のなかで、会報・ホームページ・メルマガの定期的な発行と、絶えざる改善を行い、会員のネットワークの要としての充実を図ってきた。2022年5月に発刊した名簿は、今後「紙ベース」から「デジタルベース」に転換する方針を固め、1年をかけて検討を進めてきた。

建築学科と在学生との間では、「先輩と語る」開催のための連携や「築理会賞」選定、「りぼん」発刊支援を継続し、3月には建築学科と一緒に「共同宣言」を発出した。これらは世代を越えて「理科大建築」の価値を高めるものであり、さらにもとに築理会から社会に働きかける動きへとつながってゆくものと考えている。

また、築理会と野田建築会、2学科1専攻との連携で卒業生の重要賞受賞祝賀会を開催するなど、初めての大規模な連携企画にも取り組んだ。

本年は工学部建築学科創設60周年であり、3月には社会人コースから第1回卒業生が誕生した。これを機に建築学科と築理会で「共同宣言」を卒業式において採択した（註・参照）。さらに築理会の年次総会では、建築学科と合同で60周年記念行事を開催し、野田建築会からの参加も得ている。節目の年を機にさらに力強く連携を進めてゆく。

3. 2022年度活動記録

(1) 開催した会合など

- ・ 2022年度築理会総会（2022年5月14日）
新型コロナウイルスの状況により、3度目のオンライン開催 参加 33名
講演：倉渕 隆氏（東京理科大学副学長／建築学科教授建築学科 「コロナ禍における換気―建築環境研究の最前線―」
- ・ 新年会開催（2023年1月21日） インテス（千駄ヶ谷）内 ARCO 参加 25名
- ・ 常任幹事会の開催（毎月第2水曜）全11回開催し、10月から対面とオンライン併用の形式に移行した。
- ・ 常任幹事会にてフューチャーフォーラムの開催 全5回開催

(2) 発行・刊行・資料とりまとめなど

- ・ 築理会会報発行 69号（2022年3月）、70号（同10月）発行
- ・ 築理会名簿作成準備と発行（2022年5月9日発送）とそのフォロー
- ・ 築理会ウェブページリニューアル（2021年11月）とそのフォロー
- ・ メールマガジン発行（毎月発行+号外版）

(3) 建築学科・理窓会との連携

- ・ 学生&卒業生交流会【先輩と語る2022】（2022年11月26日）開催
<https://saforum.wixsite.com/home/先輩と語る2022> 特設サイト
- ・ ホームカミングデー（2022年10月30日 オンライン開催）へのムービー出展
- ・ 「りぼん」2022制作支援（2022年11月発行）
- ・ 建築学科卒業制作と卒業論文に対する築理会賞審査
昼間コース卒業制作審査会（2023年2月12日）
社会人コース卒業制作発表会への参加（2023年1月28日）
4者に授与（3月19日卒業式）
- ・ 理窓会活動への委員（副会長等）派遣（通年）
- ・ 築理会と野田建築会、2学科1専攻との連携で卒業生の重要賞受賞祝賀会を開催（2022年11月13日）
- ・ 建築学科との「共同宣言」の発出（3月19日卒業式）
- ・ 建築学科60周年を記念した行事の準備と運営（2023年総会開催日）

(4) その他

- ・ 名簿と事務局業務効率化のありかたの検討
- ・ 2021年度総会で会則改正、さらに継続検討
- ・ JIA新宿地域会との連携によるアイデアコンペの準備
- ・ その他 築理会役員と教員の交流懇親会、ゴルフコンペ等は開催せず。

4. 委員会の活動概要

企画総務委員会

上記行事の企画・運営を行い、運営の円滑化と活性化を進めた。事務局のサポート事務部門のアウトソーシング化を具体的に検討し、財務の安定化・財源の確保対策を立案し実施した。理窓会関連団体の構成員としての築理会としての認識に立ち、理窓会副会長である現会長の活動をサポートした。

情報・広報委員会

各情報メディアの定常的発行（ホームページ・会報、Facebook）と質の継続的改善に努め、広報の充実・会員サービスを図った。また、理窓会ホームカミングデーでの資料作成を行った。その他、連動する築理会行事を企画・運営し、より多くの会員参加を促し、また広報内容に反映した。

会員ネットワーク委員会

4月に発行した名簿のデータの更新・拡充を継続したほか、会員情報のデータベースを改良し、会員連絡や会費納入等の事務作業の効率化を検討し、インターネットを利用し、会員情報の更新・名簿閲覧・会員活動への活用などを具体案としてまとめた。

活性化委員会（+女子部会）

毎月のメルマガ定期発信と号外によるニュースを配信した。築理会の活動を全国ネットワークへ広げる中で、地方会員の輪を広げ交流の場の増加を企画する中で、大阪での懇親会が開催され、神奈川支部の活動再開が準備された。

建築学科への協力委員会

学生と積極的に交流して在学中から同窓会を認知させ、卒業後の参加を促した。学生と卒業生の交流会イベント実施し、同じ趣旨に基づいて野田建築会との合同事業を実現した。築理会賞の表彰（卒業制作ならびに卒業論文表彰）は、初の卒業生を出した社会人コースにも拡大し、4名を表彰した。

註 「共同宣言」の全文

東京理科大学工学部建築学科と、その同窓組織である東京理科大学校友会築理会は、以下の項目を目標として連携することを宣言する。

1. 東京理科大学校友会築理会（以下、築理会）は、東京理科大学工学部建築学科（以下工学部建築学科）が、建築界ならびに社会にとって有為な人材を輩出するために協力する。
2. 築理会は、工学部建築学科の卒業生が旺盛に活動できるよう、積極的に支える。
3. 工学部建築学科は、以上のような築理会の活動の意義を学生に伝え、卒業後の活動参画を奨める。

第2号議案

2022年度（R4. 4. 1～R5. 3. 31） 築理会決算報告

収入の部		
部門	摘要	金額
前年度繰越金		4,468,226
築理会会費	3500円×199名	696,500
	30000円×23名	690,000
	2000円×9名	18,000
	会費合計	1,404,500
広告収入	会報春・秋	123,200
	名簿	1,152,580
寄付		233,000
その他	銀行利息	4
余剰金	新年会・総会・交流会	20,700
今年度収入総計(A)		2,933,984
総収入		7,402,210

2023年4月26日 会計：栢木・崎山

支出の部		
部門	摘要	金額
会報	春号	1,237,236
	秋号	232,760
名簿	印刷・発送	911,757
ホームページ維持費		66,000
メールマガジンシステム費		42,000
事務費		118,718
運営費（会場費）		4,500
築理会賞		40,000
りぼん支援		100,000
広告費		3,000
オンラインサービス利用費		22,110
今年度支出総計(B)		2,778,081
今年度収支差額(A)-(B)		155,903
来年度繰越金		4,624,129
総支出		7,402,210

第3号議案

築理会 2022年度監査報告書

2022年度（R4. 4. 1～R5. 3. 31）決算報告をします。

2023年 4月26日

築理会会長
佐野 吉彦



2022年度決算書について監査の結果、相違ないことを確認しました。

2023年 4月26日

築理会監査役
小嶋 美行



役員他		常任幹事		幹事
会長	石橋敦之/81	古池廣行/70	熊谷一清/92	園延弘樹/67
企画総務委員長	近藤剛啓/84	野田正治/70	*常盤純代/95	河合康夫/73
副委員長	*古藤武彦/95	長尾大介/72	河村良夫/96	梅津裕二/74
情報・広報委員長	安達 功/86	飯山道久/74	三浦博範/98	赤石光雄/78
副委員長	山岸 隆/14	上原伸一/75	*虎尾亮太/05	堀米江理子/79
副委員長	*中東壮史/13	荒井眞一郎/76	杉本由美子/05	山本和志/82
活性化委員長	天神良久/82	田中治/76	山崎杏奈/11	宇野与四郎/83
副委員長	伊藤学/85	武長龍二/76	*金沢将/12	郷田桃代/88
副委員長	中井崇義/04	稲垣雅子/79	三好隼人/13	高橋治/89
学科連携委員長	増村清人/81	安藤泰/79	大村聡一郎/14	山名善之/90
副委員長	鈴木敦子/97	馬島亮/79	*本山真一郎/16	今本啓一/90
事務局長	*河村享一/89	廣谷純弘/80	*崎山夏彦/18	伊藤英明/94
副事務局長	栢木まどか/99	入野公男/80	*阿嶋浩/22	伊藤孝仁/10
監査役	三輪富成/73	神谷昌裕/81		森健士郎/12
顧問	大岩昭之/68	浦山千明/81		
	林孝夫/69	細井友治/83		
	石神一郎/70	横井千秋/83		
	佐野吉彦/79 (前会長)	佐藤浩/84		
		森 清/85		
名誉幹事	福田義克/68	高橋潤子/87		
	乙丸勝範/71	阿久津好太/88		

- ・上記委員長と事務局長を副会長に任ずる。
- ・上記副委員長と副事務局長を常任幹事に任ずる。
- ・氏名前*印は新任、/後数字は卒業年を示す。

2023年度活動計画

前会長が4年間で整えた築理会の骨格作りを継承し、さらに肉付けをしてゆく事を目標として取り組みます。さまざまな活動の活性化を計り、会員同士の絆・ネットワークをより一層深めてゆくことを目指します。また、大学との連携も継続・拡大し、共に“「理科大建築」のプレゼンスを拡大する”ことも継続した目標とします。

1. 会員DBの再整備（クラウド化）とWeb版名簿システム運用を開始する。
 2. 事務局作業の一部の外部委託を検討し、会員サポート体制の拡充を図る。
会費の納入を広く呼びかけ、財務の安定化を図るとともに、活発な会員活動などへの支援体制を築く。
 3. 情報・広報委員会は、会報誌（春・秋）・ホームページ・メールマガジンをより連携し、その他Facebookなども利用して、会員の輪を広げてゆく。また、会員の活動発表の場としてフューチャーフォーラムを開催する。
 4. 活性化委員会は、各種イベント（HCD、新年会等）に加え、地域会や企業内の会員活動を顕在化して支援してゆく。また会員のグループ活動なども広めてゆく。
 5. 学科連携委員会は、3月に採択した大学との「共同宣言」をもとに、軌道に乗っているリボン支援やOB・OG交流会“先輩と語る”などに加えて、新しい企画や社会人コースとの連携なども模索する。
- ・ 4つの委員会と事務局で組織し、
企画総務委員長を近藤剛啓さん
情報・広報委員長を安達功さん
活性化委員長を天神良久さん
学科連携委員長（改称）を増村清人さん（留任）
事務局長を河村享一さん
にご担当頂き、上記5名を副会長とする。
 - ・ その他

JIA 新宿地域会共催の学生コンペ（昨年立ち上げ）のスタート
会則の見直し（学生会員の検討他）

第6号議案

会員 DB 再整備・Web 版名簿導入

【これまでの経緯について】

2021年5月 Web名簿の調査（主にシステム業者の既存名簿システム）を開始。

2021年7月 薬学部同窓会のWeb名簿システムをヒアリング

2022年4月 名簿発行

2022年5月 総会時に紙の名簿発行を終了し、Web名簿への切り換えを宣言する。

2022年7月～12月 （株）アジル（薬学部Web名簿作成業者）と導入について詳細打合せを行う。

2023年1月 常任幹事会にて（株）アジルに、Web名簿のプロトタイプ作成業務の発注を決議し、発注する。

2023年1月～3月 Web名簿検討WGを発足し5回の検討会を行う。

【計画の概要について】

- ・ 会員DB（データベース）を、現在の事務局の利用に加え、Web版名簿や今後の様々な活用を視野に入れて再整備し、クラウドサーバーに保管する。
- ・ 会員は、築理会HPからWeb版名簿へ進み、パスワード（あらかじめ会費納入者に配布する）でログインすることで、自分の個人データの閲覧や変更ができる。そして会員の検索と会員情報の閲覧（各個人が制限をしている部分を除く）ができる。
- ・ 上記のシステム開発とDB移行作業を外部業者に委託する。

【業務委託先】

株式会社 アジル

東京都八王子市石川町2685-1（日本マルチビル）

2000年9月設立 届出電気通信事業者

【スケジュール】

2023.06月初 業務発注

2023.10月末 DB項目決定、Web名簿システム・画面等の決定

2023.12月末 データベースの移行完了

2024.01月末 システムの試行、調整完了

2024.03月末 会報誌（春号）の発送時にパスワードと利用案内を同封

2024.04月初 Web版名簿の運用開始。

第7号議案

2023年度(2023.4.1~2024.3.31) 築理会予算

2023年5月27日

■ 収入の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	
前年度繰越金			4,624,129
築理会会費		1,645,000	
		875,000	正会員@3,500円×250名
		750,000	終身会員@30,000円×25名
		20,000	新規会員@2,000円×10名
寄付金		300,000	(2022年度実績は233,000円)
広告収入	会報	260,000	
収入総計			2,205,000
総収入			6,829,129

■ 支出の部

数字の単位は円

部門	摘要	金額	備考
会報	春号	1,250,000	
	秋号	250,000	
ホームページ維持費+更新費		100,000	維持費 66,000
メールマガジンシステム費		45,000	
会員データベース移行費		770,000	
デジタル名簿システム開発費			
データベース維持費		165,000	サーバー使用料含む
事務費		300,000	外部委託費含む
運営		40,000	会場費・ネットワークサービス利用費
築理会賞		40,000	(2022年度実績と同額)
りぼん支援		100,000	(2022年度実績と同額)
支出総計			3,060,000
繰越金			3,769,129
総支出			6,829,129